



Weekly 第179号

個室ユニット推進協ニュース

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

直近の介護関連ニュース(ダイジェスト版)をお届けします。今週号は2020(令和2)年11月3日(月)から11月8日(日)までの1週間。今週号には先週号で掲載できなかったニュースを追補してあります。計2枚。詳細は厚生労働省や各団体のHPなどで確認してください。**赤字は重要ニュース**。推進協HPで過去分を読めます。

■「国民に負担増を求める環境にない」介護報酬改定で財制審(11月2日)

財政制度等審議会の財政制度分科会は2021(令和3)年度介護報酬改定などを議論し、「新型コロナウイルスが国民生活に及ぼす影響を考えれば、プラス改定にして国民に負担増を求める環境にない」としてプラス改定に反対した。ただ新型コロナの経営への影響については「深刻な地域やサービスに重点化し、(総費用の増加0.3%程度の)臨時の措置にとどめるべきだ」(限定的なプラス改定を容認)とした。介護事業経営実態調査で収支差率が2.4%にとどまったことについて「全産業の中小企業(19年2.9%)と同程度の水準で問題ない」としてプラス改定の理由にはならないと判断。

■窓口2割負担を要望 日商や連合など 高齢者医療制度(11月4日)

日本商工会議所や連合など経済労働5団体は75歳以上が加入する高齢者医療制度の自己負担割合について「現役世代や企業の保険料負担(抛出)が限界に来ている」として原則2割負担を求める要望書を田村憲久厚労相に提出した。原則2割化については日本医師会などが「最小限にとどめるべきだ」と難色を示している。

■マスクなし 乗車拒否OK 国交省が認可(11月4日)

国土交通省はタクシー運転手が正当な理由がないのにマスクをしない人の乗車を拒否してもよいとする運送約款規定(変更)を認可した。東京都内10社が変更を申請していた。

■「特養の規模別報酬」反対意見が多数 介護給付費分科会（11月5日）

第191回介護給付費分科会は21年度介護報酬改定に向けて「地域包括ケアシステムの推進」と「自立支援・重度化防止の推進」の論点に対する「検討の方向」を議論した。主な「検討の方向案」は以下の通り。委員の主な意見は「←青字」で表示。

【地域包括ケアシステムの推進】

論点③認知症基礎研修・eラーニング化した上で認知症介護に当たる「無資格者」の介護職員に受講を義務付ける←「研修より実経験することの方が大事ではないか」「BPSDと認知症との関係の正しい理解が重要だ」

論点④看取り、ターミナルケアに関する加算及び基本報酬の要件に「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」に沿った取り組みを明示する。

論点⑥特養の基本報酬を定員規模別に設定する案（地方分権改革で地方自治体が提案した）・定員80名以下の規模で収支差率が低い傾向にあるが、報酬を規模別にする、利用者の自己負担が変わる。「骨太方針2019」が示した経営の大規模化・協働化と逆のインセンティブになる←「利用者も混乱する」（反対多数）

【自立支援・重度化防止の推進】

論点①介護の質の評価と科学的介護の推進・新介護データベース「CHASE」にADLなどの情報を提供した施設系と通所系の事業所を加算で評価する・リハビリ情報のVISITとCHASEを統一名称にする←「ADL情報の提供事業者を評価するのは適切だ」「事業所単位の同意が必要だが、全員の賛成は無理だ」

論点③「ADL維持等加算」通所以外の事業所にも拡大する←「算定率引き上げには要件の緩和やシンプル化が必要」「加算より基礎報酬の引き上げで対応してほしい」

論点⑤「生活機能向上連携加算」ICTの活用などでPTなどが事業所・施設を訪問せずに状況を把握した場も評価する←「初回は対面が不可欠であり、ICTでは無理だ」

論点⑥口腔衛生管理・全ての介護保険施設が口腔衛生管理体制を確保し、係る加算を見直す。その際、CHASEを活用したPDCAサイクルを推進する←「数値化することが重要だ」

論点⑦栄養ケア・マネジメント・全ての介護保険施設は入所者ごとの栄養ケア計画を作成し、その際、CHASEを活用したPDCAサイクルを推進する←「賛成」（多数）

論点⑧管理栄養士・看取り期 介護保険施設の看取りの加算に関与する専門職に管理栄養士を加える。また「褥瘡マネジメント加算」でも同様とする←「栄養の管理と褥瘡は密接に関係する」「適切な対応で賛成だ」

論点⑫寝たきり予防・重度化防止ためのマネジメント・施設系サービスでケアマネジャーや介護職員が計画を策定して介入や介護などを行う仕組みを導入した事業所を評価する。その際、CHASEを活用したPDCAサイクルの推進を検討する←「寝たきり予防にはユニットケアが有効で重要だ」

論点⑭「排せつ支援加算」・全入所者のスクリーニングを定期的実施し、現行6カ月間限度を継続して算定できるようにする←「現実的な対応だ」・プロセス評価に加え、改善など（アウトカム）への評価を検討し、CHASEを活用したPDCAを推進する・アウトカム評価は統一評価と可能な定義・指標を用いるようにする。